

日本経済新聞

4月21日

木曜日

発行所 日本経済新聞社

中古部品で新たな機械

エムダイヤ アップサイクルPR

リサイクル機械のエムダイヤ（富山県滑川市）は、同社製の機械で使った部品を再利用し、新たな機械を作る事業を始めた。省資源の観点から注目が高まっているアップサイクル（価値の高いものへの再利用）に取り組み、企業姿勢をアピールする。

同社の機械はタイヤや光ファイバーなど、金属や樹脂といった複数の素材を使う製品を分離・破

砕できるのが特徴。今回は中古の機械を下取りして、ボルトや鉄板を再利用できるようサビを落とすなどして、デモ機に活用した。今後はアップサイクルの商品を年間1、2台生産・販売したいという。

同社の売上高は2億円前後で、大手電機・自動車メーカーの系列でリサイクルに関わる企業などと取引している。

1月には自治体などが

出資する投資会社「名古屋中小企業投資育成」（名古屋市中区）から出資を受けた。